

3級の1 2は裏面

財団法人全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援 第63回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

平成19年1月28日実施

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 栃本商店は、小切手 200,000 を振り出して、定期預金とした。
- 茨城商店から商品 600,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 1,3000 は現金で支払った。
- 神奈川商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 500,000 を取引銀行で割り引き、割引料を差し引かれた手取金 497,000 は当座預金とした。
- 福島工業株式会社の株式10株（1株の帳簿価額 80,000）を1株につき 87,000 で売却し、代金は現金で受け取った。
- 本月分の給料 490,000 の支払いにあたり、所得税額 38,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。
- 群馬商店は、商品券 120,000 を発行し、代金は現金で受け取った。

2

宮城商店の下記の取引について、

- 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の売掛金勘定に転記しなさい。
 - 売上帳・売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。
 - 商品に関する勘定は3分法によること。
 - 仕訳帳の小書きは省略する。
 - 元丁欄には、売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

／月 9日 青森商店に次の商品売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	300個	@ 700	210,000
B 品	500 "	" " 600	300,000

／2日 青森商店に売り渡した上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品	10個	@ 700	7,000
-----	-----	-------	-------

／6日 秋田商店から次の商品を仕入れ、代金の一部については、下記の小切手#5を振り出して支払い、残額は掛けとした。

A 品	900個	@ 500	450,000
B 品	600 "	" " 400	240,000

AB0005	小 切 手	仙台 0401 0135-002
支払地	宮城県仙台市若林区文化町1 株式会社 全商銀行仙台支店	
金額	400,000	
上記の金額をこの小切手と引き換えに 持参人へお支払いください		
平成〇年1月16日	宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘7 宮城商店	
振出地 宮城県仙台市	振出人 宮城 吾 郎	宮城

24日 山形商店に次の商品売り渡し、代金のうち 100,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。

B 品	800個	@ 600	480,000
-----	------	-------	---------

29日 山形商店から売掛金の一部 300,000 を同店振り出しの小切手#8で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

3級の2

1は表面

第63回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

財団法人全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

平成19年1月28日実施

3

関東商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取 引

1月10日 千葉商店に借用証書によって、現金 ¥500,000 を貸し付けた。(伝票番号 No 6)

11日 埼玉商店から事務用のパーソナルコンピュータ ¥300,000 を買入れ、代金は月末に支払うことにした。
(伝票番号 No 11)

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 岩手商店の決算日における総勘定元帳(一部)は、下記のとおりである。ただし、売上勘定・仕入勘定の期間中の記録は、合計額で示してある。よって、
- 期末商品棚卸高を求めなさい。
 - 当期の純売上高を求めなさい。
 - (ア)に入る勘定科目を記入しなさい。
 - (イ)に入る金額は当期の何の金額であるか、番号で答えなさい。

1. 商品売買益 2. 売上原価 3. 純仕入高

繰越商品		繰越商品		売上		損益	
1/1 前期繰越	12/31 仕入	12/31 仕入	入	12/31	仕入	12/31 売上	上
780,000	850,000	780,000	480,000	()	9,600,000		9,600,000
12/31 仕入	1,630,000	1,630,000	9,600,000	9,600,000			9,600,000
12/31 繰越商品	()	12/31 繰越商品	()	12/31 仕入	()	12/31 売上	()
()	()	()	()	()	()	()	()

(2) 次の文の [] のなかに、適当な金額を記入しなさい。

東北商店の期首の資産総額は ¥1,460,000 負債総額は ¥520,000 であった。なお、この期間中の収益総額が ¥3,290,000 当期純利益が ¥310,000 であるとき、費用総額は [] で、期末の資本は [] である。

5

北海道商店(個人企業) 決算年/回 /2月31日)の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- 整理仕訳を示しなさい。
- 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高		勘定		勘定		勘定		勘定												
現 金	貸倒引当金	備 品	借 入 金	売 上	給 料	雑 費	当座預金	繰越商品	支払手形	資本金	受取手数料	支払家賃	支払利息	売掛金	前払金	買掛金	引出金	仕入	水道光熱費	現金過不足(借方残高)
¥758,000	¥14,000	¥980,000	¥1,200,000	¥9,823,000	¥1,420,000	¥144,000	¥1,659,000	¥630,000	¥940,000	¥3,000,000	¥279,000	¥360,000	¥32,000	¥2,300,000	¥125,000	¥530,000	¥170,000	¥6,930,000	¥275,000	¥3,000

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥670,000
- 貸倒引当金 売掛金残高の3%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- 備品減価償却高 取得原価 ¥1,400,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は6年とし、定額法による。
なお、直接法によって記帳している。
- 現金過不足勘定の ¥3,000 は雑損とする。
- 引出金勘定の ¥170,000 は整理する。

1	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				
e				
f				

2 (1)

仕 訳 帳

平成〇年 / /	摘要	仕	借	方	貸	方
	前期繰越高	√	7,340,000		7,340,000	

総 勘 定 元 帳

平成〇年 / /	摘要	仕	借	方	平成〇年 / /	摘要	仕	貸	方
	前期繰越	√	840,000						

(2) (注意) 売上帳・売掛金元帳は締め切ること。

売 上 帳

平成〇年 / /	摘要	内	訳	金	額

青 森 商 店

売 掛 金 元 帳

山 形 商 店

平成〇年 / /	摘要	借	方	貸	方	借	残	高
	前月繰越	350,000			借	350,000		

平成〇年 / /	摘要	借	方	貸	方	借	残	高
	前月繰越	490,000			借	490,000		

試験場校 受験番号

3級の1得点

第63回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

3級の2

入金伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

科目	入金先	金額
摘要	金	額
合計		

出金伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

科目	支払先	金額
摘要	金	額
合計		

振替伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

勘定科目	借方	勘定科目	貸方
合計		合計	

摘要

4 (1)

a	b	c	d
※	※		

(2)

ア	イ
※	※

5 (1)

	借方	貸方	貸方
a			
b			
c			
d			
e			

(2)

北海道商店

貸借対照表 平成〇年/2月31日

資産	金額	負債および資本	金額
現金		支払手形	
当座預金		買掛金	
売掛金 ()		()	
貸倒引当金 ()		資本金	
商 ()		()	
備 ()			
品			

試験場校 受験番号

3級の2得点

総得点

借		方		貸		方	
a	定期預金	200,000		当座預金		200,000	
b	仕入		613,000	買掛金		600,000	13,000
c	当座預金 手形売却損(または割引料)	497,000		受取手形		500,000	
d	現金		870,000	有価証券 有価証券売却益		800,000	70,000
e	給料		490,000	所得税預り金		38,000	452,000
f	現金		120,000	商品券			120,000

2 (1)

平成〇年	摘要	平	借	貸
/	前期繰越高	√	7,540,000	7,540,000
9	(売掛金)	4	510,000	
12	(売上)			510,000
12	(売上)		7,000	
16	(仕入)	4	690,000	
	(当座預金)			400,000
	(買掛金)			290,000
24	諸口 (売上)			480,000
	(現金)		100,000	
	(売掛金)		380,000	
29	(当座預金)	4	300,000	
	(売掛金)	4		300,000

総勘定元帳

平成〇年	摘要	平	借	貸	平	借	貸
/	前期繰越	√	840,000	1	12	1	7,000
9	売上	1	510,000	29	当座預金	1	300,000
24	売上	1	380,000				

(2) (注意) 売上帳・売掛金元帳は締め切る。帳

平成〇年	摘要	内	額
1	青森商店	掛け	
9	A品 300個 @ ¥700	210,000	
	B品 500個 @ ¥600	300,000	510,000
12	青森商店	掛け戻り	
	A品 10個 @ ¥700		7,000
24	山形商店	現金・掛け	
	B品 800個 @ ¥600		480,000
31		総売上高	990,000
		売上戻り高	7,000
		純売上高	983,000

青森商店

平成〇年	摘要	借	貸	借	残高
/	前月繰越	350,000		借	350,000
9	売り上げ		510,000	"	860,000
12	売上戻り		7,000	"	853,000
31	次月繰越		853,000		
		860,000	860,000		

山形商店

平成〇年	摘要	借	貸	借	残高
/	前月繰越	490,000		借	490,000
24	売り上げ		380,000	"	870,000
29	回収		300,000	"	570,000
31	次月繰越		570,000		
		870,000	870,000		

入金伝票 No. _____
 平成〇年 月 日

科目	入金先	金額
摘要		
合 計		

出金伝票 No. 6
 平成〇年1月10日

科目	貸付金	支払先	千葉商店 殿
摘要			
借用証書により貸し付け			500000
合 計			500000

振替伝票 No. 11
 平成〇年1月10日

勘定科目	借方	勘定科目	貸方
備 品	300000	未 払 金	300000
合 計	300000	合 計	300000

摘要 埼玉商店から事務用のパーソナルコンピュータを買い入れ 月末払い

4 (1)

a	b	c	d
850,000	9,120,000	損 益	2

(2)

ア	イ
2,980,000	1,250,000

5 (1)

借 方		貸 方	
仕 入	630,000	繰 越 商 品	630,000
a 繰 越 商 品	670,000	仕 入	670,000
b 貸 倒 償 却	55,000	貸 倒 引 当 金	55,000
c 減 価 償 却 費	210,000	備 品	210,000
d 雑 損	3,000	現 金 過 不 足	3,000
e 資 本 金	170,000	引 出 金	170,000

(2) 北海道商店 貸借対照表 平成〇年/2月31日

資 産	金 額	負 債 お よ び 資 本	金 額
現 金	758,000	支 払 手 形	940,000
当 座 預 金	1,659,000	買 掛 金	530,000
売 掛 金 (2,300,000)		(借 入 金)	1,200,000
貸 倒 引 当 金 (69,000)	2,231,000	資 本 金	2,830,000
商 品	670,000	(当 期 純 利 益)	713,000
(前 払 金)	125,000		
備 品	770,000		
	6,213,000		6,213,000